



神戸女学院大学音楽学部

アウトリーチ通信

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチ・センター

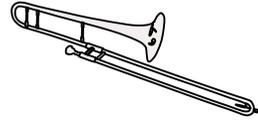
2025年3月20日発行 第45号

スペシャル・コンサート ～おととあそぶ～

日時：10月19日 14時（60分間）

場所：神戸女学院エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

出演：矢巻正輝（トロンボーン）、梅田望実（ピアノ）



2024年10月19日（土）、大阪交響楽団副首席トロンボーン奏者の矢巻正輝さんと、ピアニストの梅田望実さんをお招きし、「スペシャル・コンサート～おととあそぶ～」（14時開演、公演時間60分）が、本学講堂にて開催されました。（来場者数：子ども88名、大人96名 計184名）

今回のコンサートに先立ち、矢巻さんには学生向けに音楽アウトリーチの精神やご自身の豊富な現場経験についてご講義いただきました。そのなかでも特に力強く語られていたのは、いかにして子どもたちの表情や反応に寄り添うかというお話でした。本コンサートでも、子どもたちを音楽で惹きつけるための工夫が随所に凝らされており、子どもたちだけではなく、来場された全ての方々を魅了するひとときとなりました。当日の様子について、順を追って記します。

J. S. バッハ〈主よ人の望みの喜びよ〉BWV147よりで幕を開けました。独特の緊張感を漂わせた会場に、矢巻さんが客席後方から音楽とともにゆっくりと登場されました。緩急と間を巧みに操った息遣いと語りかけるような旋律は、観客一人一人に挨拶をしているかのようでした。梅田さんのピアノも加わった厳かでも柔らかなメロディは、客席の心を一気に掴みました。オープニングにして矢巻さんならではのあたたかな空間が誕生した瞬間でした。

自然体の親しみやすいMCで挨拶をされ、その後に演奏されたのはG. プッチーニの歌劇《トゥーランドット》より〈誰も寝てはならぬ〉。この楽曲は、フィギュアスケートでも頻繁に使用されることから、聴き馴染みのある方も多かったようです。トロンボーンはオペラにおけるテノール歌手の音域に近いと言われており、テノールの有名曲が力強くしなやかな響きで歌いあげられました。

また音楽を聴くにあたっては「心地良い」「なんだかかっこいい」「楽しい」や「眠たいな」といったものまで、自由な感性で受けとってもらえたらという思いを語られたことで、本コンサートで繰り広げられるクラシックやジャズといった多様なジャンルを自由に味わいつつ、観客は心の赴くままに音楽を楽しめる空気感となりました。

続いては、オーケストラについて知ってもらおうべく、G. ビゼーの歌劇《カルメン》より〈第一幕への前奏曲〉が演奏されました。速いテンポのリズムの細かい曲はトロンボーンにとっては苦手であると笑いを交えてお話しされると、観客からは自然と応援の目線が向けられ、すばらしい演奏をされた矢巻さんにはそれを讃える盛大な拍手が贈られました。

観客のトロンボーンへの興味が益々高まったところで、トロンボーンの声が鳴る秘密にテーマは移りました。金管楽器特有の唇を震わせた音の鳴らし方を体験するため、矢巻さん手作りの楽器を用いた体験コーナーが行われました。選ばれた3名の子どもたちは、舞台上で〈線路は続くよどこまでも〉を披露しました。今日限りのスペシャルオーケストラとして生き生きと演奏した子どもたちは、音楽の喜びを体現するようでした。手作り楽器はホースやビニールなど身近なものからできており、観客は舞台上で輝いていた金管楽器を更に身近に感じられるようになりました。

また歩きながら演奏できるというトロンボーンの特徴を活かし、アメリカ民謡〈聖者の行進〉で、アメリカのニューオーリンズで行われた行進を会場内で再現しました。拍手は自然と沸き上がり、子どもたちからは歓声も上がったりと、会場は大盛り上がりを見せました。

そのままオーケストラについての話が展開されると、唯一楽器を持たない奏者である指揮者に話題は及び、指揮者体験コーナーへ移りました。本コンサート2度目の参加コーナーに子どもたちの意欲は満々でした。運よく選出された2名は矢巻さん、梅田さんと共に、J. ブラームス〈ハンガリー舞曲第5番〉で見事な指揮を披露しました。観客も一体となって彼らを見守りました。子どもたちの緩急ある指揮は、まさにおととあそんでいるようでした。

続いて矢巻さんは、それぞれの子どもたちにとって得意なこと、人と繋がるときの手段はみなさんにとって何だろうと問いかけました。そして作曲者は音楽で、美しさや思いを伝えたのではないかとお話されました。《動物の謝肉祭》より〈白鳥〉が演奏されました。C. サン＝サーンスが伝えた白鳥の様子を、観客はそれぞれの感性で思い浮かべられたのではないかと思います。

次にジャンルが変わり、ミュージカル映画《サウンド・オブ・ミュージック》よりR. ロジャースの〈私のお気に入り〉。歌の悲しい様子や楽しい様子に合わせて、短調と長調が変わることを説明されたうえでジャズアレンジ版を演奏されました。その演奏は歌心に溢れ、映画の世界が広がるようでした。

その後、秋にちなんで月の曲メドレーを披露されました。梅田さんの優美なタッチで、C. ドビュッシー〈月の光〉から演奏が始まると、会場の集中力は一層高まり、観客は宵の世界へ惹きこまれました。古今東西の月にちなんだ名曲が美しくお洒落なアレンジで彩られました。

最後には、山田耕筰の〈この道〉が演奏されました。海外の作曲者が多かった本コンサートでしたが、日本にも素晴らしい作曲家がいることを改めて感じさせる、あたたかな日本の旋律が響きました。

演奏終了後の大きな拍手は鳴り止まず、待望のアンコールでは観客へのプレゼントとして、〈モア・ヒューマン〉が瑞々しく甘美なメロディで演奏され、コンサートは幕を閉じました。

多彩な演出で、観客一人一人が音楽との距離を縮め、心に残るひとときを過ごすことができたことと思います。また、学生たちは事前の講義で学んだ音楽アウトリーチの精神を実際のコンサートで体感し、その学びを深める貴重な機会となりました。終演後のインタビューでは、楽器に興味を持ち、またこの先触れてみたいと語った少年の好奇心溢れる眼差しが印象的でした。「おととあそぶ」をテーマとした本コンサートでの音楽の出会いは、来場された方々にとって音楽に心を開くひとつのきっかけとなったのではないかと思います。(安永 さくら・記)





子どものためのクリスマス・コンサート

～きいて、みて、かんじて～

日時：12月14日 11時 15時30分（60分間）

場所：神戸女学院エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

出演：廣瀬紀衣（フルート）、山川美和（フルート）、樋口成香（オーボエ）、
井上裕紀子（ダンス）、中嶋奏音（ピアノ）



演奏会の幕開けを待つ子どもたちの緊張感と、綺麗に飾られたクリスマスの暖かな雰囲気が入り混じる本学の講堂で、「子どものためのクリスマス・コンサート～きいて、みて、かんじて～」(子どものためのコンサート・シリーズ第69回)が幕を開けました。(第1部11時開演、第2部15時半開演、各60分、来場者数・第1部436名/第2部171名、計607名)

アウトリーチ・センタースタッフとして普段このコンサート・シリーズを支える立場にいる私ですが、今回ありがたいことに出演の機会に恵まれ、本公演にはより深い思いを寄せていました。

私が母校神戸女学院で学んだフルート、管楽器のなかでもフルートとの室内楽において共演機会の多い楽器のひとつであるオーボエ、表現の上で大きな助けとなり更にソロでも大活躍できるピアノ、そして本学の魅力的な特色のひとつである舞踊も盛り込んだ編成で企画しました。

出演者それぞれにスポットライトを当てながらも、全員でのコラボレーションも見ていただけるプログラムを考えました。聴くところ、見るところ、さまざまな感覚に働きかける仕掛けをコンサートのあらゆる場面に散りばめ、私たちのパフォーマンスを通して音楽を感じて楽しんでもらいたいという願いを込めて付けたサブタイトルが「きいて、みて、かんじて」です。

そしてその先に、コンサートで生まれる空気が子どもたちと、一緒にご来場された大人との接着剤になれば素敵だなという思いも込めていました。

音楽は、聴き馴染みがあると思われるものと、新たな発見を得てもらえそうなものとのバランスを鑑みながら選曲し、演奏や踊りを始める前にはどこに注目してほしいか、感じてほしいかを言葉でも伝えることを意識しました。

冒頭の〈葦笛の踊り〉では、舞台上のピアノから音楽が始まるとすぐに、客席後方からフルートの音が聴こえ、またコールアングレが登場する舞台上に耳の意識が戻った後ダンスが加わり視線が移ることで、会場全体で音楽をキャッチする準備ができたように思います。私が客席後方から前方に歩きながら演奏している間、子どもたちと目が合い、近くで反応を感じられたことも印象に残っています。

〈トルコ行進曲〉ではF. サイの編曲によって一味違う雰囲気を“感じて”、〈チョコふえすっ!〉の3種類のチョコレートが織りなす音楽を“聴いて”お気に入りの探してもらい、〈ガヴォット〉の音楽に合わせて変化するダンスを“見て”もらいました。それぞれピアノ、木管楽器、ダンスにスポットを当てた編成で、順に音楽をお届けしました。

聴くことにスパイスを加えたいと思い、フルートとコールアングレによるデュオ〈プロヴァンスのやまびこ〉(オリジナルはオーボエとコールアングレ)では、フルートは舞台から、やまびこ役のコールアングレは2階席後方から演奏しました。より「やまびこ」を感じてもらうために、スタッフの助言を得ながら立ち位置やタイミングを入念にリハーサルした結果、子どもたちも大人の方もやまびこの音を探している様子が印象的で、より奥行きのある“聴いて”を体感してもらえたのではないかと思います。

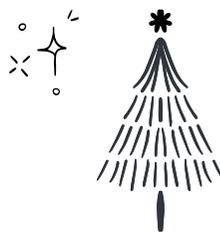
「きいて、みて、かんじて」の要素を少しずつ種蒔きしたあと、〈ジングル・ベル〉の音楽を使ったリズム遊びに参加してもらいました。この曲を3つの国の踊りの音楽（日本の盆踊り風、スペインのタンゴ風、ブラジルのサンバ風）にアレンジし、それぞれの音楽の特徴に合わせたリズムで手を叩きました。同じ曲でもリズムが違くと音楽の雰囲気が変わることを感じてもらっているとよいと思います。

同じく手遊びでよく知られている〈アルプス一万尺〉の音楽が盛り込まれた〈アメリカ小二重奏曲〉、クリスマスプレゼントとして作曲された〈3つのロマンス〉より第2楽章で、客席の意識を舞台に戻し、フルートとピアノによる〈歓喜の歌〉の演奏に合わせてお客様にも踊りに参加してもらい、会場全体でコラボレーションをする時間をつくりました。

上半身だけでできる3つの振付を提示し、音楽のダイナミクスに合わせて体の動きを変化させたり、曲の終わりにはポーズを決めてもらったりするなど、その場でのライブ感が生まれた瞬間もあり、私自身の心が躍動したのを覚えています。隣の人と顔を見合わせる振付では、笑顔で目を合わせる子どもと保護者の姿が特に印象的で、この瞬間は音楽が、前述した接着剤になっていたと感じています。舞台上で演奏する自分の目に映っていた、会場が一体となった景色は、この曲に込められた「すべての人々は兄弟となる」というメッセージとリンクして感じられました。

プログラム最後の〈クリスマス・メドレー〉では歌詞を口ずさむ子どももいれば、前の曲の空気感そのままに、舞台上にいる井上さんのダンスを真似て楽しむ子どももいて、微笑ましいフィナーレとなりました。子どもたちにとって、少しでも音楽をきいて、みて、かんじて、そして楽しむ時間となっていたら幸いです。

「音楽によるアウトリーチ」既習生、アウトリーチ・センタースタッフ、演奏者というさまざまな視点を持っていることを活かして、今の子どもたちに何を届けられるのかを、これからも考えていきたいと思います。（廣瀬 紀衣・記）



神戸女学院が贈る「子どものためのコンサート」シリーズ 第14回

子どものためのクリスマスコンサート

きいて、みて、かんじて

2024年12月14日(土) 神戸女学院エミリー・ホワイトクリスマス記念講堂

第1部 11:00~12:00 10:15開演 (小学生以下対象)
第2部 15:30~16:30 15:00開演 (小学生以上対象)

出演
フルート: 廣瀬紀衣
フルート: 山川美和
オーボエ: 樋口絳香
ダンス: 井上裕紀子
ピアノ: 中嶋美音

チケット価格
大人 ¥500 小学生以下 ¥300

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチセンター
〒258-8502 神戸市灘区美し丘1-1-1
TEL: 078-801-0000
FAX: 078-801-0001
E-MAIL: outre@kobe-n.ac.jp
www.kobe-n.ac.jp/outre

Program

- 〈鐘の響り〉〈くるみ割り人形〉より
P. チャイコフスキー 全曲
- 〈行進曲〉〈くるみ割り人形〉より
P. チャイコフスキー 全曲
- トルコ行進曲
W.A. モーツァルト=F. サイ ピアノ
- チョコふえすっ!
八木澤敦尚 フルート、フルート、オーボエ
I. ホワイト II. あまく III. ビター!!
- ガヴオット
F. J. コツェフ ダンス、フルート、ピアノ
- 〈プロヴァンスのやまびこ〉〈プロヴァンスの羊飼いたち〉より
E. モザ フルード、コーラアングル
- ジングル・ベル
J. ピアポイント 全曲
- アメリカ小二重奏曲
F. ドップラー フルード、フルート、ピアノ
- 3つのロマンス 第2楽章
R. シューマン オーボエ、ピアノ
- 〈歓喜の歌〉〈交響曲第9番〉より
L.V. ベートーヴェン 全曲
- クリスマス・メドレー 全曲

Performers
フルート: 廣瀬 紀衣 山川 美和 樋口 絳香
オーボエ: 井上 裕紀子
ピアノ: 中嶋 美音

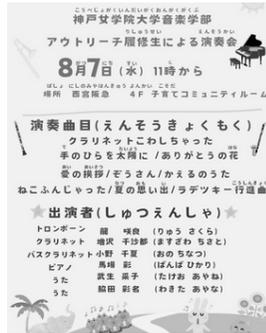
子どものためのクリスマスコンサート
きいて、みて、かんじて

西宮阪急 夏休みファミリーコンサート

日時：8月7日 11時 (30分間)

場所：西宮阪急4F子育てコミュニティルーム (兵庫県西宮市高松町14-1) 対象者：3歳～小6、保護者

出演：武生 采子 (声楽)、脇田 彩名 (声楽)、増沢 千沙都 (クラリネット)、小野 千夏 (バスクラリネット)、龍 咲良 (トロンボーン)、馬場 彩 (ピアノ)



西宮阪急の子育てコミュニティルームにて3歳から小学6年生を対象としたファミリーコンサートを行いました。メンバーとの話し合いで音楽を聴くだけでなく、音楽と一緒に楽しむというテーマ付けをし、プログラムを構成しました。

初めに挨拶の意味を込めて〈愛の挨拶〉を演奏し、続いて〈手のひらを太陽に〉でアクティビティを行いました。楽器紹介として楽器の音色に触れてもらい、〈ラデツキー行進曲〉で指揮者体験をしてもらいました。最後は〈ありがとうの花〉を演奏しました。音楽で子どもたちに楽しんでもらうことを1番に考えていたので、曲に合わせて体を動かしたり、打楽器を使って一緒にリズムで遊んだりするコンサートを行いました。本番で子どもたちの反応は私たちが想像していたものとは違い、消極的な反応だったように感じました。コンサート終わりの印象として、あまり楽しんでもらえなかった、子どもたちのことでもっと考えられることがあったはずだ、と反省が多く残りました。しかし公演後のアンケートを読ませていただくと、私たちが想像していたものとは違い、楽しんでいただけていたようでした。演者側と受け取り手の感覚の違いがこんなにも変わってくることもあると知り、とても勉強になるコンサートとなりました。(増沢 千沙都・記)

西宮阪急

日時：8月7日 15時 (30分間)

場所：阪急西宮3階プロモーションスペース (兵庫県西宮市高松町14-1) 対象者：お買い物中のお客様

出演：石田 桜子(声楽)、倉永 真理(フルート)、大川 紗季(トランペット)、村田 沙耶(ピアノ)、岸本 杏(ピアノ)



最初に組曲 惑星より〈木星〉を全員で演奏しました。ピアノ連弾から始まり、トランペット、その後フルート、歌と順番に加わるように構成を工夫しました。次に〈Trumpet Love Letter〉をフルートとのデュエットに変えて、きれいできっとりした雰囲気を出しました。〈The Entertainer〉はピアノ連弾で演奏しました。忘れてしまっており途中からになってしまいましたが、シンクペーションのリズムを手拍子で感じてもらいました。歌のソロで〈私のお父さん〉を演奏し、お客様を惹き付けました。続く〈フレンド・ライク・ミー〉と〈ホール・ニュー・ワールド〉では、トランペットのかっこよさと、フルート・歌の上品さの対比が良かったものの、もう少しクオリティを上げられたら更に良かったと思います。最後は〈You Raise Me UP〉を全員で演奏しました。トランペットのソロでたっぷりと曲が進んでいき、転調からは歌も合わさって盛り上げることができました。楽器の音を飛ばすことに必死でしたが、強弱にも気を配れたらよかったと思います。アンコールでは〈ラデツキー行進曲〉を全員でお客様も手拍子をしていただき、明るく演奏してコンサートを終えることができました。もう少し通して練習をして慣れておく必要があったと思いますが、全体的には大きな問題もなく進められることができました。(倉永 真理・記)

高木幼稚園 わくわくコンサート

日時：10月17日 10時10分～10時45分（35分間）

場所：西宮市立高木幼稚園（兵庫県西宮市伏原町3-40） 対象者：園児、保護者、小規模保育施設より数名

出演：武生 采子（声楽）、脇田 彩名（声楽）、増沢 千沙都（クラリネット）、小野 千夏（バスクラリネット）、龍 咲良（トロンボーン）、馬場 彩（ピアノ）



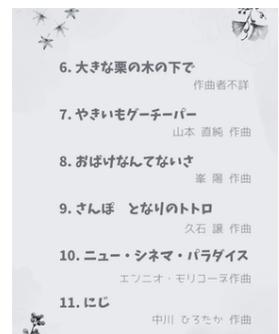
今回の公演は秋に行うコンサートということで、秋を感じる曲をたくさん取り入れました。前回、同じメンバーで別公演を行った際の反省点を意識しながら準備することができました。子どもたちの様子は、楽器紹介でピアノが〈どんぐりころころ〉を演奏した時に、一緒に歌い始めて大合唱になっていたり、〈クラリネット壊しちゃった〉では、クラリネットを解体している間にとてもいい反応をしてくれたり、私たちがマイクを通してリアクションをする声も消されるくらい、とても元気いっぱいでした。前回の公演ではなかなか手を挙げてもらえなかった指揮者体験も、今回は体験したいと手を挙げてくれる子がたくさんいました。体験してもらえたのはプログラムの進行上2人だけでしたが、その2人をお友達がたくさん応援している姿も見ることができ、とても温かい空間が広がっていました。私たちが子どもたちに音楽を通して楽しさなどを伝えるつもりが、子どもたちから素直な楽しさや元気などを教えてもらえたと思います。とてもいい経験をさせていただきました。ありがとうございました。（龍 咲良・記）

鳴尾東幼稚園 秋のコンサート

日時：10月29日 10時（45分間）

場所：西宮市立鳴尾東幼稚園（兵庫県西宮市笠屋町30-47） 対象者：園児、保護者

出演：苅屋 知絵梨（ピアノ）、清水 萌花（フルート）、増沢 千沙都（クラリネット）、天海 和（サクソ）、大川 紗季（トランペット）



今回は、管楽器が4人とピアノのメンバーで幼稚園のアウトリーチ公演を行いました。声楽専攻がいなかったのですが、子ども向けのプログラムにおいて歌は必須だと考えていたので、歌を歌うことにも挑戦しました。また、プログラムに童謡やアニメの曲など子ども向けの曲と有名なクラシック曲を入れることでメリハリのあるプログラムを構成を目指しました。実際に行ってみると、園児と保護者以外に未就園児も数人おり、静かに座って演奏を聴くことがむずかしい子どももいました。そのため、クラシック曲は少し飽きられてしまったのではないかとという点と、アクティビティの内容が少しむずかしく想定通りに行うことができなかったことが反省点です。子ども向けの公演でクラシック曲を演奏する場合には、曲の長さや、その場でただ演奏するのではなく子どもの近くで演奏するなど、視覚的な工夫をする必要があると思います。アクティビティは事前にうまくいかなかった時の別のプランを考えていたので、臨機応変に対応することができました。子ども向けの曲では、一緒に歌って踊って積極的に参加してくれて、子どもたちから元気をもらえ、素敵な時間を過ごすことができました。（清水 萌花・記）

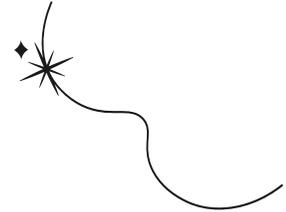
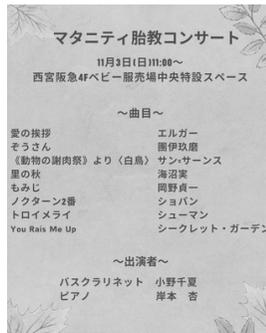
西宮阪急

マタニティ胎教コンサート

日時：11月3日 11時（30分間）

場所：西宮阪急 4Fベビー服売場中央特設スペース（兵庫県西宮市高松町14-1） 対象者：お買い物中のお客様

出演：小野 千夏（バスクラリネット）、岸本 杏（ピアノ）



今回はマタニティ向けのコンサートということで、ゆったり落ち着いた演奏会にするために、サン=サーンス作曲の〈白鳥〉や、ショパン作曲の〈ノクターン第2番〉を選曲しました。また、小さいお子さんを想定し、團伊玖磨作曲の〈そうさん〉や岡野貞一作曲の〈もみじ〉など馴染みある曲も演奏しました。当日は、ベビーカーのお子さんが珍しそうに楽器を見てくれたり、音楽に合わせて体を動かしながら歌っている親子がいたり、暖かい空気感のなか、演奏することができました。倍音の多いバスクラリネットが胎教に適していることも、今回の演奏会を通して初めて知りました。バスクラリネットの厚みある暖かな音色を活かした内容にすると、より楽器の魅力をお伝えできると思いました。売り場中央での演奏だったため、もっと周りを見渡しながら広範囲に音を届けるイメージを持つと、より会場に音を響かせることができたのではないかと思います。今後は会場に合わせた演奏方法も研究していきたいです。ホールにお客様が来てくださるのではなく、奏者が外向き音楽を届ける、喜びを共有する……なんだか「音を運んでいる」という、新しい感覚を味わうことができました。今回の演奏会を通じて音楽の素晴らしさを再確認することができました。すばらしい演奏の機会をいただき、ありがとうございました。（小野 千夏・記）

西宮阪急

絵本読み聞かせ&コンサート

日時：11月3日 15時（30分間）

場所：西宮阪急 4Fえほんのへや（兵庫県西宮市高松町14-1） 対象者：親子（事前申込制）

出演：石田 桜子（声楽）、天海 和（サクソ）、武田 沙也香（ホルン）、村田 沙耶（ピアノ）



この公演では“生演奏で音楽を聴きながら物語の世界を体験してもらう”ことをねらいとしていました。『5ひきのすてきなねずみ おんがくかいのよる』と『はらべこあおむし』の2冊の絵本を使用しました。ただの読み聞かせではなく、絵本中に曲が付いているものを選び、演奏会のシーンでは実際に生演奏をするなどして、音楽と絵本を同時に楽しんでもらえる工夫をしました。幼稚園での実習だと、園で習った曲を取り入れたりしますが、今回は親子での参加で、演奏する曲を知っている子もいれば知らない子もいるという状態だったので、アクティビティも何をどのようにするとみんなと一緒に楽しんでもらえるかを考えました。そして今回は〈キャベツの中から〉、〈お弁当箱の歌〉、〈バスごっこ〉をアクティビティとして取り入れました。私たちが前で楽しそうにアクティビティをしたり、近くに寄ってやってみたりすると一緒に動いてやってくれました。私たちが楽しそうにしていると知らない曲でもまねをして一緒に楽しんでもくれるんだということが勉強になりました。本番は実際に目の前に子どもたちがいるので、練習通りにすることが大切なのではなく、子どもたちの目線に合わせてたり、会場にいる全員が楽しめるよう歩いて近くに寄ってみたい、臨機応変に対応することが大切だと学びました。（武田 沙也香・記）

あおぞら幼稚園 秋のコンサート

日時：11月7日 10時（40分間）

場所：西宮市立子育て総合センター付属あおぞら幼稚園（兵庫県西宮市津田町3-40） 対象者：園児、未就園児

出演：工藤 万李花（声楽）、脇田 彩名（声楽）、大川 紗季（トランペット）、松永 理来（ピアノ）



今回のねらいは、「秋をテーマにした幅広いジャンルの音楽で、楽器の音色や歌声を通し、心にひびく思い出にする」でした。そのため、童謡からクラシックまで幅広い音楽を届けることをポイントとしました。その結果、始終盛り上がり、子どもたちも非常に喜んでくれたように感じうれしかったです。私たちも、リラックスして思い切り楽しんで音楽を届けることができたように思います。直前のリハーサルでいくつか手直しをしましたが、柔軟に対応することができました。

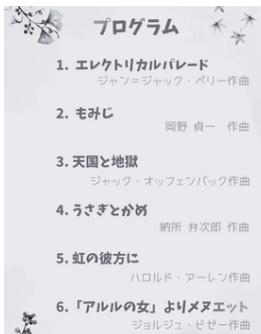
工夫した点として、これまでの実習を通して、子どもも同じ曲でもテンポを速くするだけで何倍も盛り上がるのを感じていたため、テンポの変化を取り入れました。子どもたちがワクワクして楽しんでいる姿が見られて、本当によかったです。またアクティビティは、初めは1人でできるもの、そして全体で行うもの、と段階を踏んだ構成にしました。ステップを踏むことで場に慣れることができたのではないかと思います。これからも子どもたちが楽しめるプログラムを、また子ども心をくすぐる工夫を考えていきたいです。出演者が4人と少なかったため、常にほぼ全員で演奏やMCを行いました。その中でも、編成にバリエーションをもたせ、ひとつひとつ違った注目ポイントを具体的に提示することでよりよくなるのではと思いました。次回に活かしていこうと思います。（松永 理来・記）

野木病院 AUTUMN CONCERT

日時：11月16日 14時（45分間）

場所：医療法人社団佳生会 野木病院（兵庫県明石市魚住町長坂寺1003-1） 対象者：70～90歳の施設利用者

出演：脇田 彩名（声楽）、岸本 杏（ピアノ）、清水 萌花（フルート）、大川 紗季（トランペット）、馬場 彩（ピアノ）



今回のプログラムでは、唱歌〈もみじ〉や、運動会の季節ということでオペレッタ《地獄のオルフェ》より序曲〈天国と地獄〉などの秋を意識した曲を取り入れました。また、参加型アクティビティの一環として〈ラジオ体操第一〉を行いました。ラジオ体操は立った状態でも座った状態でも体を動かすことができるため、足腰のあまり丈夫でない高齢者の方でも安心して取り組めるアクティビティとして最適だったと思います。上記の曲に加え、《アルルの女》より〈メヌエツト〉、〈トランペット吹きの休日〉、映画『千と千尋の神隠し』より〈あの夏へ〉など、楽器それぞれの音色を存分に味わっていただけるような曲を演奏いたしました。また、美空ひばりの〈お祭りマンボ〉や坂本九の〈上を向いて歩こう〉は施設利用者の皆様の年代に合わせてプログラムに取り入れた曲でしたが、手拍子などで一緒に楽しんでいただくことができました。クラシック音楽に囚われず、親しみやすい唱歌やジブリ映画、ポピュラー音楽などの幅広いジャンルを演奏することができ、バラエティに富んだコンサートにできたと思います。最後に利用者の皆様から花束もいただき、大変嬉しかったです。この度は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。（岸本 杏・記）

西宮阪急 クリスマスコンサート

日時：12月8日 11時(30分間)

場所：西宮阪急4F タリーズコーヒー WITH U (兵庫県西宮市高松町14-1) 対象者：親子

出演：倉永 真理 (フルート)、清水 萌花 (フルート)、村田 沙耶 (ピアノ)



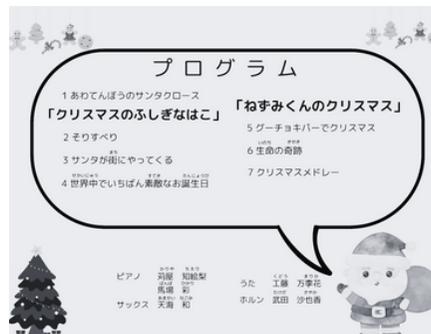
西宮阪急4階にあるタリーズコーヒー WITH Uにて、少し早めのクリスマスコンサートを行いました。親子向け、ということで一緒に楽しめるような、親しみやすい曲選びを意識しました。演奏する場所のすぐ近くには他のお店もあり、コンサート中多くのお客様が足を止めて聴いて下さったことがとても嬉しかったです。前半15分の子ども向け参加型プログラムを企画する上で、どうすれば事前に有料でご予約いただいている方と、外から立ち見で聞いている方との違いを作れるか、という点に苦労しました。クリスマスコンサートというテーマに基づき〈あわてんぼうのサンタクロース〉の歌詞の意味からハンドベルのアクティビティを取り入れました。保護者の方と一緒に楽しんでいただいたり、お子様たちだけ前に出て〈ジングルベル〉を演奏してもらう演奏会スタイルも、とても楽しんでいただけている様子で印象的でした。後半15分は、お食事をお楽しみいただきながら演奏を聴いていただきました。〈チャルダッシュ〉や〈天使のくれた奇跡〉など、前半とはまた違った角度から音楽のすばらしさを伝えることが出来たのではないかと感じています。仲間と共に一からプログラムを考え、一緒に演奏することのむずかしさ、そして同時に音楽の力、を感じることもできる、とても良い経験でした。ありがとうございました。(村田 沙耶・記)

西宮阪急 絵本読み聞かせ&クリスマスコンサート

日時：12月8日 15時(30分間)

場所：西宮阪急4F えほんのへや (兵庫県西宮市高松町14-1) 対象者：親子

出演：工藤 万李花 (声楽)、天海 和 (サクソ)、武田 沙也香 (ホルン)、馬場 彩 (ピアノ)、
荻屋 知絵梨 (ピアノ)



クリスマスの絵本を読み聞かせしながらクリスマスの曲を中心に、音楽の楽しさを知ってもらえるようなプログラムを組みました。最初に自己紹介を兼ねて全員で『あわてんぼうのサンタクロース』を演奏し、続いて『クリスマスのふしぎなはこ』という絵本を読み聞かせしました。絵本の内容や情景が目につかびやすいように、BGMや演奏を交えながら読み聞かせを行いました。次に、クリスマスは何の日か知ってる？と問いかけて、クリスマスはイエス様が生まれた日と言われていたことにちなんで、〈世界中でいちばん素敵な誕生日〉を演奏しました。続いて、割り箸と画用紙で作った人形を使って『ねずみくんのクリスマス』を、人形劇の形式で読み聞かせをしました。子ども達が楽しそうに人形を見たりお話を聞いている様子が印象的でした。クリスマスのアクティビティ「グーチョキパーでクリスマス」を行い、皆で少し遊んでから、来てくれたお礼に手作りのクリスマスカードをプレゼントしました。最後に、クリスマスメドレーを全員で演奏して、コンサートを終了しました。子ども達はアクティビティに参加してくれたり、絵本を見たり音楽を聞いたり、楽しんでくれている様子も伝わって来たので、アウトリーチのやり甲斐を感じました。とても楽しく、良い経験になりました。(工藤 万李花・記)

浜脇幼稚園 クリスマスコンサート

日時：12月17日 10時（45分間）

場所：西宮市立浜脇幼稚園（兵庫県西宮市宮前町8-22） 対象者：園児、保護者

出演：増沢 千沙都（クラリネット）、小野 千夏（バスクラリネット）、武田 沙也香（ホルン）、龍 咲良（トロンボーン）、馬場 彩（ピアノ）



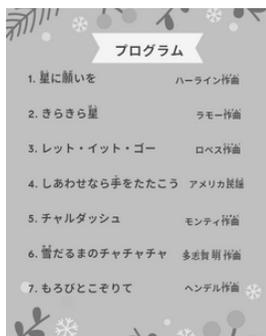
もうすぐクリスマスということで、クリスマスにちなんだ様々なジャンルの音楽をお届けしました。限られた時間のなかで打ち合わせをし、音楽だけでなく視覚的にもクリスマスの雰囲気が伝わるようにサンタさんやひいらぎの絵を作成するなど、工夫を凝らしながら準備できてよかったです。子どもたちはしっかり演奏を聴いてくれて、私たちの問いかけにもたくさん反応してくれました。今回はアクティビティーを多く取り入れ、〈手のひらを太陽に〉では、子どもたちはこの曲を知らないようでしたが、私たちの動きをしっかりと見て一緒に身体を動かしてくれました。プログラムには載せていませんでしたが、じゃんけん列車を〈クリスマスメドレー〉に合わせて行いました。じゃんけん列車と聞いただけで子どもたちは喜び、元気いっぱいになり盛んになって楽しんでくれました。コンサート終演後には「また来てね～」と言ってくれて、私たちの姿が見えなくなるまで手を振り続けてくれました。音楽を通して子どもたちとの仲が深まったことを実際に感じる事ができて、嬉しかったです。（龍 咲良・記）

すくすく学級 クリスマスコンサート

日時：12月19日 11時（30分間）

場所：芦屋市立すくすく学級（兵庫県芦屋市楠町16-1） 対象者：児童

出演：武生 采子（声楽）、倉永 真理（フルート）、清水 萌花（フルート）、松永 理来（ピアノ・ヴァイオリン）、岸本 杏（ピアノ）



「さまざまな楽器の音色に親しみ、体全体で音楽を楽しもう」がテーマでした。まず初めに、楽器と演奏者の紹介として〈きらきら星〉を演奏し、さまざまなバリエーションでそれぞれの楽器のよさを表現しました。〈しあわせなら手をたたこう〉では、体を動かすアクティビティを取り入れました。ピアノの音色を敏感に感じとって、元気に楽しんでくれました。次に、ピアノと2本のフルートで〈チャルダッシュ〉を演奏しました。クラシック音楽も集中して聴いてくれました。子どもたちもよく知っていた〈雪だるまのチャチャチャ〉では体を動かしながら、大きな声と一緒に歌ってくれて、とても嬉しかったです。終わりには全員で〈もろびとこそりて〉を演奏し、アンコールの〈そりすべり〉でコンサートを締めくくりました。最初は緊張した様子の子もたちでしたが、時間が経つにつれ、手拍子などでどんどん積極的に参加してくれました。楽しんでもらうための工夫を皆で考え、試行錯誤しながらではありますが、無事にコンサートを終えることができました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。（武生 采子・記）

雲雀丘小学校 1、2限目

日時：12月18日 1、2限目（各40分）

場所：雲雀丘学園小学校（兵庫県宝塚市雲雀丘4-2-1） 対象者：小学4年生

出演：石田 桜子（声楽）、天海 和（サクセス）、大川 紗季（トランペット）、苅屋 知絵梨（ピアノ）



クリスマスの曲に触れて楽しんでいただく時間を作るため、クリスマスに関する曲をいくつか演奏しました。〈讚美歌メドレー〉の中の〈もろびとこぞりて〉では、生徒の皆さんにも一緒に歌ってもらいながら楽しく演奏することができました。また“ジャズ”を取り入れた学びの要素もプログラムに盛り込み、ジャズの起源やオーケストラとの編成の違いを伝えました。裏拍を強調することがジャズの特徴の1つでもあることを説明する際に、表拍と裏拍の違いをモニターに映し、手拍子をしながら〈A列車で行こう〉を聴いてもらい、ジャズの雰囲気を実際に体感してもらいました。生徒の皆さんがとても楽しそうに演奏を聴いてくれたのがとても印象的でした。これまでのアウトリーチ公演と比べ対象の年齢が上がったこともあり、最初は不安が大きかったですが、2公演目では1公演目より時間配分を細かく考えたり、生徒にクリスマスについて話題を振ったりする余裕が生まれ、より笑顔で演奏を届けることができたと思います。私たちが音楽室に入る前から生徒の皆さんのワクワクした様子がひしひしと感じられ、それに対し、どのようにうまく応えることができるか、と悩む場面もあり緊張しましたが、本番はよい雰囲気で行うことができました。（天海 和・記）

雲雀丘小学校 3、4限目

日時：12月18日 3、4限目（各40分）

場所：雲雀丘学園小学校（兵庫県宝塚市雲雀丘4-2-1） 対象者：小学4年生

出演：脇田 彩名（声楽）、工藤 万李花（声楽）、大川 紗季（トランペット）、村田 沙耶（ピアノ）



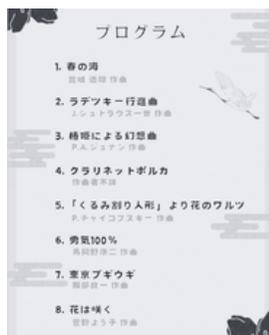
音楽には様々なジャンルの曲があるということを知ってもらうために、童謡、映画音楽、クラシック、オペラ、オペレッタ、ミュージカルなど、幅広いジャンルから選曲しました。まずは、冬にちなんで童謡〈ゆき〉から始まり、次の〈トランペット・ラブレター〉ではトランペットの音色に注目してもらいました。トランペット、声楽、ピアノという編成を活かして、全員で迫力のあるクラシック音楽を演奏したいと思い、ヘンデル作曲《メサイア》より〈ハレルヤ〉を演奏しました。映画音楽に触れてもらうため『アラジン』の楽曲を2曲演奏しました。児童たちもよく知っている曲だったこともあり、手拍子をしながら楽しんで聴いてくれとてうれしかったです。『サウンド・オブ・ミュージック』より〈私のお気に入り〉を日本語と英語で歌い、言葉による雰囲気の違いを楽しんでももらいました。オペラの楽曲で先生と共演させていただいたときは、児童たちも大盛り上がりしてくれたので、とてもやりがいがあり、楽しかったです。最後にクリスマスメドレーを児童たちと一緒に歌いました。演奏中には様々な反応を見せてくれたり、終演後にたくさん話しかけに来てくれたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。（脇田 彩名・記）

西宮阪急 NEW YEAR コンサート

日時：1月6日 13時（30分間）

場所：西宮阪急3F イベントスペース（兵庫県西宮市高松町14-1） 対象者：お買い物中のお客様

出演：清水 萌花（フルート）、増沢 千沙都（クラリネット）、天海 和（サクセス）、
大川 紗季（トランペット）、苺屋 知絵梨（ピアノ）



新年の公演ということで、ここでしかできない曲目でプログラムを考えました。曲を決める話し合いの時から、お正月らしい曲が多く出てきたので、季節と公演の対象者がぴったり合ったプログラムにできたのではないかと思います。売り場近くでの演奏に緊張していたのですが、実際はステージとお客様の椅子も用意されていて、お買い物途中に立ち止まるというよりも、最初から最後まで演奏を聴いてくださる方がほとんどでした。演奏中にお客様のほうを見ると、笑顔で手拍子してくださっている方もたくさんで、温かい雰囲気でも演奏することができて良かったです。曲間のMCでは、お客様の顔を見ながら話すことを意識していたのですが、言葉に詰まったり、焦って早口になってしまったりする場面もあり、演奏面だけでなくMCの練習も必要だと思いました。また、その場でのリアクションに合わせて話すことができたならよりよくなるのではないかと思います。最後のアウトリーチになるメンバーもいたので、自分たちらしく楽しく演奏することができ、良い締めくくりの公演になったと思います。（清水 萌花・記）

西宮阪急 NEW YEAR コンサート

日時：1月6日 15時（30分間）

場所：西宮阪急3F イベントスペース（兵庫県西宮市高松町14-1） 対象者：お買い物中のお客様

出演：大川 紗季（トランペット）、龍 咲良（トロンボーン）、武田 沙也香（ホルン）、村田 沙耶（ピアノ）



金管楽器の魅力、各楽器による音色の違いを知ってもらいたいと考え、全員がソロの曲を取り入れました。各楽器の音色を知ってもらえる機会になったと感じました。その他にも、吹奏楽やオーケストラの定番である曲で華やかな曲からゆったりとした曲まで、様々な曲を取り入れました。金管楽器のサウンド感を楽しんでもらえるように、各パートの割り振りや対旋律、ハーモニーなどを工夫しました。全員で演奏する曲の編成では管楽器の編成が金管楽器のみだったため、音量のバランスを調節するのがむずしかったです。また課題点はMCが全体的に曲の説明のみになったことです。今までの幼稚園や小学校などの実習とは異なり、アクティビティを取り入れられなかったことから、お客様と交流して反応を見られる機会がなかったため、ただ音楽を聴くのみという雰囲気になってしまいました。アクティビティを入れないのであれば、MCの際に曲の説明のみではなくて曲の成り立ちなどを説明してから演奏するなどの工夫が必要だと感じました。演奏を聴いてもらう対象の方が変わっても、聴き手にあった演奏会に工夫していくべきだと感じ、今後の課題となりました。

（大川 紗季・記）

ゲストティーチャー講義
 丹野桃子さん
 2025年1月10日（金）

2025年1月10日、卒業生でもあり、アウトリーチ既習生でもある、丹野桃子さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、講義を行いました。卒業後のアウトリーチ活動について主にお話しくださいました。

学生にとって身近な卒業生である丹野さんの講義は、将来について改めて考える良い機会でした。

丹野さんは卒業後、「アンサンブルくれよん」というグループを結成し、アウトリーチ活動に積極的に取り組んでおられます。結成から活動の経緯や実際に行ったコンサートの雰囲気についてなど、ご自身の活動について紹介してくださいました。活動を行っていくうえで、厳しさのなかにも夢を感じられるリアルなお話は、学生たちの心に何か響くものがあったのではないかと思います。



アンサンブル くれよん

特に、卒業直後のアウトリーチ活動の進め方については、多くの学生が興味を持って聞き入っている様子でした。自主公演の収支や広報の方法について、とても参考になる実践的な事柄を多く共有してくださいました。学生からの質問も、グループ名の由来や売り込み方など、アウトリーチ活動の進め方に関する、より具体的な事柄が多く、直球の質問にも真摯に答えてくださいました。

講義後半では、丹野さんから学生へのプレゼントとしてワークシートが配布されました。今後、各々の人生の中でやりたいことを実現させ、より自分らしい人生を歩んでいくうえでのヒントになるワークでした。



最後には、ライフステージによって変化する環境のなか、丹野さん自身もまだまだ模索段階であることも語られました。幅広いご活躍をしながらも、いつまでも探求を続けるその姿勢に、多くの学びと刺激をいただいた講義となりました。（安永 さくら・記）

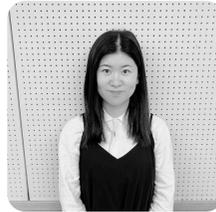


Congratulations

音楽によるアウトリーチ 実習を履修した 4年生より



音楽によるアウトリーチ 実習（4年生）
担当教員：稲本 渡



天海 和

アウトリーチを通じて、音楽を直接届ける楽しさとその魅力を改めて実感しました。お客様や各園の皆さんの温かい反応や笑顔に励まされました。私にとってこの授業はとても貴重な経験となりました。演奏者としても多くを学べた時間となりました。



馬場 彩

訪問演奏をすることだけが音楽によるアウトリーチだと思っていましたが、音楽を通して何を伝えたいのか。何のために演奏をするのかを考えるものということ学びました。音楽と社会の繋がりを改めて学ぶ良い機会となりました。ありがとうございました。



石田 桜子

ここでしか得られない貴重な学びを得ることができました。この活動がこれからも続き、多くの人に受け継がれていくことを願っています。一緒にステージを作り上げたメンバー、センタースタッフの皆様、そして先生方に心から感謝申し上げます。



岸本 杏

アウトリーチ活動において特に大変だったのは、聴衆に合わせたプログラムやMCを考えることでした。想定以上に喜んでいただけることもあれば、思ったような反応でないこともあり、苦勞もしましたがそこが面白かったと思います。



菊屋 知絵梨

アウトリーチを履修して、実際に経験しないと分からない学びをたくさん得ることが出来ました。例えば、自分で演奏会をすることは中々難しいですがたくさんの実習の中で失敗をし、そこから改善点を見つけることができたと思います。



倉永 真理

通りすがりの方や幼稚園の付き添いの方などの興味を惹きつける企画を考える勉強になりました。対象によって選曲や話し方を変えないといけないことが課題でした。演奏技術の向上だけでなく、華やかさ、わかりやすさなど、雰囲気づくりの重要性を学びました。



工藤 万李花

対象やその場の雰囲気に合わせて話し方や選曲の仕方、演奏の仕方など、多くのことを学ぶことができました。お客様の反応を間近で見ながら演奏できるアウトリーチのやり甲斐をとっても感じました。学んだことをこれからの演奏活動にも活かしていきたいです。



松永 理来

私は1年間の履修を通して、音楽が人々に与える力を自分の身で感じ、再認識することができました。これからの学校教育にも、ぜひアウトリーチ活動を取り入れ、次は子どもたちにも、人々に音楽を届ける喜びを味わって欲しいです。



増沢 千沙都

私はこのアウトリーチの実習を通して改めて音楽の楽しさを感じました。幼稚園や阪急西宮など場所も対象も異なった環境でどのようなプログラムにすれば、楽しんでいただけるのかを考えるのは大変でしたが、とてもやりがいがありました。



村田 沙耶

授業を通じて、本当にたくさんさんの演奏機会をいただきました。楽器の種類が豊富なこともあり、メンバー構成や曲のレパートリーもその都度違い、様々な角度から音楽を見つめ直すよい経験になったと感じています。本当にありがとうございました。



大川 紗季

アウトリーチの授業では、大学近隣の幼稚園や小学校などの実習に行くことができます。一緒にできるアクティビティや歌える曲など、構成がむずかしいところもありましたが、反応を直接見ながらすることが出来てとても良い機会になりました。



龍 咲良

授業を通して、計画的に準備を行う大切さを学びました。うまくいかない時もありましたが、聴いてくださる方の反応を近くで見ることで、音楽の魅力を改めて感じる貴重な時間でした。学んだことをこれから活かしていけたらと思います。



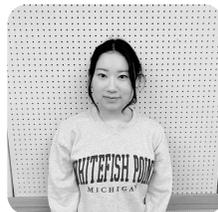
武田 沙也香

私たちの学年は履修生が多く毎公演メンバーが変わっていました。そのため大変なことも多くありましたが、メンバーとコミュニケーションをとり練習できたと思います。公演を通して、私たちが明るく楽しく演奏することがどれだけ大切なのかも学ぶことができました。



小野 千夏

アウトリーチを通して、恥ずかしがらずに堂々と演奏する、奏者を演じることの大切さを学びました。バスクラリネットは珍しい楽器なので、卒業後もアウトリーチ活動で音楽の楽しさとバスクラリネットの魅力を伝えていきたいと思っています。



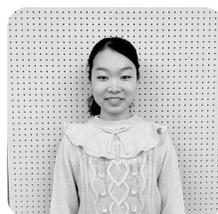
清水 萌花

授業を履修して、普段は一緒に演奏することがないメンバーと演奏する機会があつて良かったです。また、演奏している時の反応を近くで見ることができたことで、音楽が与える力を再確認することができました。今後も音楽に触れて豊かに生きていきたいです。



武生 采子

音楽によるアウトリーチの授業、実習によって、間違いなく私の価値観は変わりました。演奏をより楽しんでいただくための”備えを施す”工夫を学びました。様々な経験を次に活かしていけるよう、これからも勉強を続けていきます。ありがとうございました。



脇田 彩名

様々な場所で演奏の場を頂き、またいつもは組むことのない楽器と演奏できたり、様々なジャンルの曲を歌うことができたりと、アウトリーチでしかできない経験がたくさんできて、とても楽しく、すばらしい経験ができて良かったです。



音楽によるアウトリーチ 理論 (3年生)
担当教員：谷田 奈央



- 6月 7日 西宮市立門戸幼稚園アウトリーチ
- 6月12日 西宮市立夙川幼稚園アウトリーチ
- 6月20日 ソリオ宝塚アウトリーチ
- 8月 7日 西宮阪急アウトリーチ
- 10月17日 西宮市立高木幼稚園アウトリーチ
- 10月29日 西宮市立鳴尾東幼稚園アウトリーチ
- 11月 3日 西宮阪急アウトリーチ
- 11月 7日 西宮市立子育て総合センター附属あおぞら幼稚園アウトリーチ
- 11月16日 野木病院アウトリーチ
- 12月 8日 西宮阪急アウトリーチ
- 12月17日 西宮市立浜脇幼稚園アウトリーチ
- 12月18日 雲雀丘学園小学校アウトリーチ
- 12月19日 芦屋市立すくすく学級アウトリーチ
- 1月 6日 西宮阪急アウトリーチ
- 1月25日 西宮市甲東地区社会福祉協議会「春のつどい」
- 2月16日 西宮市貝類館アウトリーチ
- 2月19日 芦屋市立小槌幼稚園アウトリーチ
- 2月25日 宝塚市議会議場コンサート（予定）
- 2月25日 芦屋市立岩園幼稚園アウトリーチ（予定）
- 3月22日 西宮市甲東地区青少年愛護協議会「ふれあいコンサート」（予定）

音楽をお届けします



「アウトリーチ」とは、「一歩踏み出すこと」「手をさしのべること」。
ホールや劇場といったコンサート従来の枠にとらわれずに、
社会のさまざまな場所にすてきな音楽プログラムをお届けします。

幼稚園・小・中学校へ：総合的学習支援プログラムとして、子どもたちに楽しい音楽体験を！
病院や美術館へ：催しの趣旨に合わせた音楽プログラムを、心を込めてお届けします。

お問い合わせ

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチ・センター（火～金 10：00～15：00）

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 TEL：0798-51-8584 FAX：0798-51-8551

E-mail：outreach@mail.kobe-c.ac.jp <https://www.kobe-c.ac.jp/musicdp/outreach/>